



# 協働・連携事例集 2020

2021年6月30日現在

## No.1 地域の溪流の親子自然体験イベントでのSDGsでつながった企業と団体3者の連携

美しい久野里地里山協議会×ウォータースタンド(株)×NPO法人和の文化塾

## No.2 乳がん予防啓発団体と企業が連携し社員向けオンラインセミナーを企画

(一社)乳がん予防医学推進協会×KDDI(株)

## No.3 障がいのある方が描いたデザインの採用による企業とNPOの協働連携

カーボンフリーコンサルティング(株)×NPO法人ふかぶか(就労継続支援B型事業所)

## No.4 コロナ禍での発達障がい児の音楽発達支援で団体と企業が協働連携

(一社)音楽発達サポート協会×(株)協進印刷

## No.5 見方を変えて、味方になろう！～発達に多様性のあるユニークな子どもたちを応援するため、地域に根差した店舗のオープンスペースでの展示～

いろんなカタチ鎌倉×(株)良品計画 MUJlcom ホテルメトロポリタン鎌倉

## No.6 おむつ自動販売機を通して子育て世代の支援を

認定NPO法人こまちぶらす×東京キリンビバレッジサービス(株)×花王(株)

## No.7 飲料メーカーの寄付金を活用した「NPOのためのウィズコロナ応援助成金」

認定NPO法人藤沢市民活動推進機構×(株)伊藤園

## No.8 NPOと地元企業がコロナ禍でのテイクアウト代行サービス「ズーパーイツ」を展開

(特非)地域魅力×湘南葉山不動産(株)

## No.9 横須賀市の職員が繋ぐ大学ゼミと地元農家・企業の地域課題解決

(一社)KAKEHASHI×立教大学法学部薬師丸ゼミ住民班×たのし屋本舗×鈴也ファーム×プロ雅農園×Bell Tree Farm×井上農園×(株)MITO CREATIVE×(株)良品計画 無印良品コースカベイサイド横須賀店

## No.10 企業と3団体が「めだか米」を通じて地域の田んぼとメダカを守る

ウエイズグループ(横浜トヨペット・トヨタカローラ神奈川・ネットヨタ神奈川)×桑原めだか米の会×(一社)小田原農人めだかの郷×めだかサポーターの会

## No.11 アートで地域を盛り上げよう！高校と鉄道会社と地域の企業の協働

県立小田原城北工業高校×(株)デコリア×伊豆箱根鉄道(株)×小田原フラワーガーデン

## No.12 NPOと企業が協働で運動・睡眠・環境が身体に与える影響を可視化

NPO法人ダンスライフコミュニケーションズ×睡眠分科会((株)TAOS研究所・グリーンブルー(株))

## No.13 コロナ禍から生まれた異世代交流～小学生×大学生オンライン交流会～

神奈川大学経営学部山岡ゼミ×認定NPO法人びーのびーの×NPO法人アクションポート横浜

## No.14 手話通訳団体と福祉従事者等へのIT支援NPOがコロナ禍で協働

横浜市手話通訳奉仕団たつの会×(特非)NPO福祉支援ゆうやけネット

## No.15 市民団体が専門学校の学生と協働で戦国時代の城址の美化活動

玉縄城址まちづくり会議×学校法人大原学園

## No.16 地元企業と障がい者就労支援事業所が協働連携

NPO法人ともに会 シェーン橋本(就労継続支援B型事業所)×(株)セレモア相模原本社

## No.17 酒匂川に関する環境保全の目的でつながった企業とNPOの連携

(株)神鋼環境ソリューション×めだかサポーターの会

次のページに続くにゃ



**No.18 企業とNPOの3団体共催による「川でつながるSDGs交流会」**

NPO 法人海の森・山の森事務局×(株)大川印刷×(株)太陽住建

**No.19 子育て家庭を地域の飲食店と連携して応援する“未来食堂”**

NPO 法人湘南まぜこぜ計画×中華料理三番×藤沢本町たいこや×伊藤さん、ち×Nico's Kitchen×ほうとうの店元祖へっころ谷×Village Cafe×駅前直売所八〇八カフェ×はっぴーあわー×レストランリッシュ×坊さんキッチンen×和食ダイニング七彩×KAMOME KITCHEN×光友会×まるほ農園

**No.20 子どもたちが本に親しむ観光バスの移動図書館**

(株)三浦観光バス×(一社)うみとやまのこどもとしゃかん

**No.21 障がい者施設が社会的企業の開発製品の販路を拡大**

NPO 法人あんしん農園×神奈川歯科大学附属病院

**No.22 1フラワーfor10スマイルプロジェクト**

横浜緑地(株)×(社福)開く会共働舎

**No.23 NPOと美術系若手アーティストの協働連携**

認定NPO法人あっちこっち×美術大学卒若手アーティスト

**No.24 「寄付でつなぐ未来へのバトン2020」寄付月間公式認定イベントの開催**

寄付月間 2020@日本大通実行委員会



協働・連携に関する情報を寄せてほしいにゃ

神奈川県では、企業・NPO・大学など多様な主体に出会いの場や学びの機会を提供し、協働・連携を促進することを目的とした「企業・NPO・大学パートナーシップ支援事業」として、次の2つの事業を実施しています。

＊ 「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング」(2012年度～)

地域課題の解決に向けた、企業、NPO、大学等多様な主体の出会いと、連携のきっかけを作り出す場として開催。

＊ 「スタディツアー」(2014年度～)

協働が上手く進んでいる事例や先進的な取り組みを行っている企業・NPO・大学等の現場を訪問して学び、参加者が自組織に持ち帰り実践していく学びの場として開催。

発行：神奈川県政策局政策部NPO協働推進課

この冊子には、NPO協働推進課にお寄せいただいた協働・連携に関する情報のうち、2021年6月30日現在、掲載することについて関係者のご了承をいただいた事例のみを掲載しています。

## No.1 地域の溪流の親子自然体験イベントでのSDGsでつながった企業と団体 3者の連携

### 【実施主体】

美しい久野里地里山協議会×ウォータースタンド株式会社×NPO法人和の文化塾

- ・地域の美しい里地里山の保全活動等を行っている団体、水道直結式ウォーターサーバー等を販売する企業、大人や子ども・外国人などに日本文化を紹介して伝承・継承する活動をしているNPOの3者が、2021年2月開催の「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング」で出会い、里山保全の一環として毎年実施している溪流での親子自然体験イベント「野遊び探検（夏の巻）」を夏に協働で開催することを企画しています。
- ・具体的には、溪流近くでの生き物観察や川の遡行、鮎のつかみ獲り、竹を使った工作、アウトドア料理などの自然体験イベントを行う中で、地域の特産である足柄茶を使った冷茶、日本茶の美味しい淹れ方等について、NPO法人和の文化塾が参加者へお話しする予定です。その際の冷茶を淹れる水や、アウトドア料理で使用する水は、ウォータースタンド株式会社が自社製品で浄水した水を使います。また、ウォータースタンド株式会社は、小田原市とプラスチックごみ削減に向けた協定を締結しており、ペットボトルのプラスチックごみを削減し、水筒等マイボトルの携帯をすすめる取組みについても紹介する予定です。
- ・3者の活動は、全てSDGsにつながる取組みということで共通しています。それぞれの企業・団体の思い、願いを参加者に伝え、SDGsの目標のひとつである「パートナーシップで目標を達成しよう」の考え方に沿って、企業と団体のパートナーシップで開催できるよう準備を進めております。

## No.2 乳がん予防啓発団体と企業が連携し社員向けオンラインセミナーを企画

### 【実施主体】

一般社団法人乳がん予防医学推進協会×KDD I 株式会社

- ・一般社団法人乳がん予防医学推進協会は、セミナー、イベント、教育事業を通じ、乳がんに対する認知度を上げ、受診者が安心できる乳がん検診の提供やいまだ低い乳がん検診率の向上を目指す、現場で乳がん検診に携わっている放射線技師等の医療従事者が立ち上げた団体です。
- ・2021年2月の「スタディツアー」で一般社団法人乳がん予防医学推進協会が参加者へ協会の取組みを紹介、参加していたKDD I 株式会社の社員が一般社団法人乳がん予防医学推進協会の取組みに賛同し、3月に自社の社員向けに乳がん予防に関する啓発セミナーの企画を相談、現在、7月の開催に向けて調整中です。
- ・この社員向けセミナーは、リアルでの参加だけでなくオンラインでの開催も予定しており、全国のKDD I 社員に配信できるよう準備しています。
- ・また、啓発事業の一環として2021年度に開催する一般社団法人乳がん予防医学推進協会主催の絵画コンクールでは、KDD I 株式会社も協賛企業として参画し、応募作品の中からKDD I 賞を設定、KDD I 株式会社の社員の子どもたちにも絵画コンクールへの参加を推奨する予定で、引き続き、乳がん予防啓発事業の取組みを支援していく予定です。

## No.3 障がいのある方が描いたデザインの採用による企業とNPOの協働連携

### 【実施主体】

カーボンフリーコンサルティング株式会社×NPO法人ぶかぶか(就労継続支援B型事業所)

- ・カーボンフリーコンサルティング株式会社は、企業や個人が排出するCO<sub>2</sub>を、再生可能エネルギー由来のクレジット購入等でオフセット（打ち消す）したことを証明する証書「再エネ証明書」の発行をしています。
- ・この発行する「再エネ証明書」の背景に、障がいのある方の就労支援を行っているNPO法人ぶかぶかで働くメンバーさん（ぶかぶかさん）の描いたデザインが採用されました。
- ・この協働は、ぶかぶかさんが描いたデザインを、株式会社太陽住建が『SDGs レポート 2019』の表紙絵に採用したところ、それを目にしたカーボンフリーコンサルティング株式会社が感銘を受け、この協働連携が実現しました。
- ・この「再エネ証明書」が発行されるごとに、NPO法人ぶかぶかに手数料が支払われることで、障がいのある方への継続的な支援にもつながっています。



## No.4 コロナ禍での発達障がい児の音楽発達支援で団体と企業が協働連携

### 【実施主体】

一般社団法人音楽発達サポート協会×株式会社協進印刷

- 一般社団法人音楽発達サポート協会は、音楽を通じ、発達障がい児の言葉の発達とコミュニケーション力を高めながら持って生まれた能力の可能性を広げ、創造力豊かな表現ができるように支援する団体です。
- コロナ禍で、発達障がい児が自分を表現する機会が失われている中、発達障がい児の親や保育者、教育者が発達障がい児を音楽で笑顔にする方法を学ぶ「オンデマンド講座」という新しいプログラムの制作に当たり、2019年度の「スタディツアー」で出会った株式会社協進印刷に、講座のパンフレット、資料、教材、セミナー動画等の作成を協力依頼することにしました。
- 株式会社協進印刷は、コミュニケーションに関する様々な課題に対し、印刷物、デジタルメディア、広報企画、ソーシャルマーケティング等の手段を用いて解決する「ソリューション・プロバイダー」として地域に貢献し、CSRの普及啓発、企業による社会課題の解決を後押ししている企業です。
- 講座の内容を分かりやすく伝えるため、デザインやレイアウトにこだわって「オンデマンド講座」を制作したことで、コロナ禍での音楽発達支援の新たな道が広がり、障がい児の親や教育者や支援者だけではなく、大学生や作曲家の受講等、今までより広く様々な分野の方に興味を持っていただくことができました。
- 今後も、引き続き、株式会社協進印刷と協働で、視覚に訴える教材や資料を作成することにより、発達障がい児やその親、保育者、教育者へのサポートを広げていきたいと考えています。



## No.5 見方を変えて、味方になろう！～発達に多様性のあるユニークな子どもたちを応援するため、地域に根差した店舗のオープンスペースでの展示～

### 【実施主体】

いろんなカタチ鎌倉×株式会社良品計画 MUJIcom ホテルメトロポリタン鎌倉

- いろんなカタチ鎌倉は、発達が多様でユニークな子どもたちに対する理解啓発を目的に活動しているお母さんたちの市民団体です。
- 多様に富んだ子どもたちの中には、困りごとや生きづらさを抱えていることがあります。それは本人のせいでもなく、周りのせいでもないこと、また一人ひとりの見方を変えるだけでも、みんなが生活しやすい環境が生まれるということ



子ども自身や子どもの周りにはいるみんなに知って理解してもらうために、『いろんなカタチ新聞』を発行するなど、発達支援に関する情報を発信しています。

- 2021年3月に、地域に根付いた店舗づくりとして土着化に取り組んでいる株式会社良品計画 MUJIcom ホテルメトロポリタン鎌倉と協働で、店舗のオープンスペースで「いろんなカタチ展」

を開催しました。展示では、『いろんなカタチ新聞』を拡大し、1号から6号まで順に並べて分かりやすく説明を入れ、福祉への関心も高い店長と共に、「このような特性の方にはこの商品を使うともっと生活しやすくなる」というような、無印良品の商品を組み込んだディスプレイもしました。無印良品に来店される様々な世代、また鎌倉市以外の方、より多くの方に展示を見ていただき、発達の多様性について知っていただくきっかけになりました。



《『いろんなカタチ新聞』バックナンバー（下記の2か所からダウンロードできます）》

- ① 「いろんなカタチ鎌倉」 URL <https://katachi0467.jimdofree.com/>

上記 URL の二次元コード⇒



- ② 鎌倉市 HP URL

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chikyo/ironnakatatishinbun.html>

## No.6 おむつ自動販売機を通して子育て世代の支援を

### 【実施主体】

認定NPO法人こまちぷらす×東京キリンビバレッジサービス株式会社×花王株式会社

- ・「まち全体で赤ちゃんの誕生をお祝いし、子育てを応援できる社会」を目指してNPO法人こまちぷらすとヤマト運輸株式会社神奈川主管支店が手掛けるウェルカムベビープロジェクト。とあるワークショップの中で、1人のお父さんが「オムツが自販機で売っていただいいな」と発言してくれたことが出発点になり、東京キリンビバレッジサービス株式会社と花王株式会社との開発がはじまりました。
- ・10か月に及ぶ開発期間を経て、通常の清涼飲料水の自動販売機にプラスして、メリーズの「Lサイズパンツ」「Mサイズパンツ」「おしりふき」「除菌シート」を購入できるようになりました。「生まれてきてくれてありがとう」といったデザインや市民の方が書いた応援メッセージなどが貼られる（一部のみ）等自動販売機そのものがサービスのみならず街からのお祝いの気持ちが伝わる装置になっています。たった一人の子育て中の方の声が出発点となったこの自動販売機ですが、今や全国のショッピングモールや百貨店、行政施設や空港、道の駅などに約60台ほど広がっています。売りたいものを売るのではなく、「役立つものを」ということが付加価値となっています。



## No.7 飲料メーカーの寄付金を活用した「NPOのためのウィズコロナ応援助成金」

### 【実施主体】

認定NPO法人藤沢市民活動推進機構×株式会社伊藤園

- ・藤沢市に所在する中間支援組織の認定NPO法人藤沢市民活動推進機構は、2020年8月に「NPOのためのウィズコロナ応援助成金」として、コロナ禍で事業の中止や縮小により損失を負い、活動の継続に困難を抱えている藤沢市周辺のNPOや市民団体に対し助成金を支給する、という緊急支援事業を実施しました。
- ・この助成金では、株式会社伊藤園が認定NPO法人藤沢市民活動推進機構と協働で藤沢市内2か所に設置した「社会貢献型自動販売機」で得られた伊藤園からの寄付金も活用しました。
- ・この助成金では、市民団体が前向きに活動を再開するための、最初の一步を踏み出す手助けとなればという思いから、活動の継続に困難を抱えるものの公的な支援制度を受けていないNPOや市民団体に、1団体当たり上限5万円を支給しました。
- ・助成金の募集は終了しましたが、認定NPO法人藤沢市民活動推進機構は、引き続き、活動の相談や参考情報の提供、活動に役立つ講座の開催等、コロナ禍でのNPOや市民団体の活動を支援しています。





## No.8 NPOと地元企業がコロナ禍でのテイクアウト代行サービス「ズーパーイーツ」を展開

### 【実施主体】

特定非営利活動法人地域魅力×湘南葉山不動産株式会社

- ・コロナ禍での飲食店経営への打撃や、生活様式の変化を余儀なくされる地域の人々への支援の必要性から、地元企業の協賛のもと、特定非営利活動法人地域魅力がテイクアウト代行サービス「ズーパーイーツ」（逗子市の「逗」と葉山町の「葉」から「ズーパーイーツ」）を企画し、実施しています。
- ・ズーパーイーツは、利用者が注文した飲食店のメニューをスタッフが代わりに受取り、自宅まで届けるデリバリーサービスです。



- ・対応している店舗は、逗子・葉山にある約20店で、配達エリアは、逗子市内・葉山町内で、月・水・金曜日は葉山エリア、火・木・土曜日は逗子エリアへ届け、利用者の料金は、飲食代+注文額の10%（お届け料）としています。
- ・数年前に特定非営利活動法人地域魅力の代表と湘南葉山不動産株式会社の代表が地域の交流イベントで知り合ったのがきっかけとなり、それ以来企業からは地元へ貢献できるきっかけや方法について相談されていましたが、今回のコロナ禍において、地元へ貢献する企画が実現することとなりました。
- ・特定非営利活動法人地域魅力が事業の計画・運営を担い、湘南葉山不動産株式会社からは、デリバリースタッフの人件費や広告費を協賛（寄付）していただくとともに、スポンサーとして利用者にもPRしていただきました。このほかに、趣旨に賛同した地元の企業2社の協力もありました。
- ・2020年4月から始まったこのサービスは、現時点では、2021年10月末までの延長予定で、このサービスにより地元の飲食店、地域に住む人々を応援し、またアフターコロナを見据えて地元店舗のファンづくりやつながりづくりのきっかけになればと考えています。



## No.9 横須賀市の職員が繋ぐ大学ゼミと地元農家・企業の地域課題解決

### 【実施主体】

一般社団法人 KAKEHASHI×立教大学法学部薬師丸ゼミ住民班×たのし屋本舗×鈴也ファーム×プロ雅農園×Bell Tree Farm×井上農園×株式会社 MITO CREATIVE×株式会社良品計画 無印良品コースカベイサイド横須賀店



- ・立教大学の薬師丸ゼミが、横須賀市の地域課題解決をゼミの研究テーマとして取り上げることになり※、ゼミとつながりがあった一般社団法人 KAKEHASHI が、地元の農家や企業等関係団体とゼミの学生を繋ぎました。
- ・なお、一般社団法人 KAKEHASHI は、横須賀市職員が、熱い思いを持つ人々を繋げ思いを実現する架け橋となり世の中をもっと良くすることを目的として、市長に直談判して承諾を得、副業として設立した法人です。
- ・2020年8月からの関係者による勉強会で挙げった

「規格外野菜は適正価格でやりとりされていない」という現状や「変形やキズ等の理由で出荷できない野菜は畑に廃棄している」という課題を解決するため、ゼミの学生の提案で、鈴也ファームの出荷できない規格外野菜を使ったピクルス「Pickles Beauty」を作ることにしました。



- ・コロナ禍での「家飲み」需要を踏まえ、色彩豊かなニンジン・カブ・大根の素材を生かし、ポリフェノールを含みヘルシーな白ワインのビネガーを使い、ハートや星の形に型抜きしてSNS映えするピクルス作りを提案。野菜のカット方法、液の味、容器の形状や色、タグのデザインなど、商品のほとんどを学生が考案し、地元企業であるたのし屋本舗が製造加工、株式会社 MITO CREATIVE がタグデザインの補助として協力しました。
- ・半年ほどかけて形になったピクルスは、2021年4月に無印良品コースカベイサイド横須賀店の協力で4日間店頭販売を実施し、計200個を完売しました。
- ・若い学生たちのセンスが活かされた商品で新たな販路ができた上、食品ロスをなくす加工食品の開発は大事な課題であることから、ピクルスの継続販売や新たな商品開発など、引き続き活動を継続していきたいと考えています。

※ 3年前に行われたゼミの研究地選定の際、ゼミ生の中にいた横須賀市の学生がゼミの研究地として横須賀市を推薦し選定されました。

## No.10 企業と3団体が「めだか米」を通じて地域の田んぼとメダカを守る

### 【実施主体】

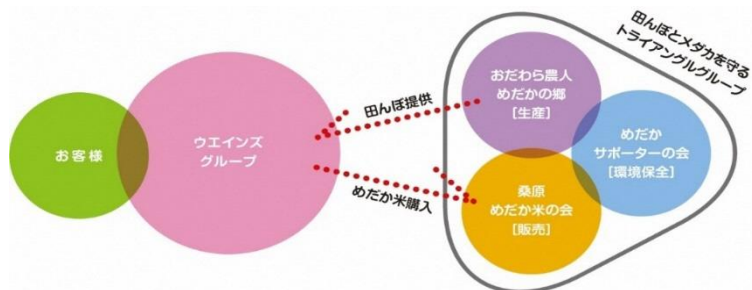
ウエイズグループ（横浜トヨペット・トヨタカローラ神奈川・ネットヨタ神奈川）×桑原めだか米の会×一般社団法人小田原農人めだかの郷×めだかサポーターの会



- ・野生メダカが生息する小田原市桑原地区の休耕田を引き受け、メダカをはじめとした生き物と共生する田んぼで「めだか米<sup>\*</sup>」を生産する一般社団法人小田原農人めだかの郷、地区の「め

だか米」を販売して地域経済と生態系の保全を支える桑原めだか米の会、さらにメダカが生息する水路や田んぼの環境保全、ビオトープづくり、外来生物の侵入を監視するパトロール、小学校へ出張授業やイベントでの教育啓発活動等を行うめだかサポーターの会の3団体が協働で、地域の田んぼとメダカをはじめとした生態系の保全活動を行っています。

- ・さらに2015年からは、神奈川県内のトヨタ販売店の「ウエイズグループ」が、お客様へのプレゼントとして「めだか米」を購入、それと並行して「めだか米」の活動を告知するなど、地域の農業や環境保全を支援しています。
- ・また、ウエイズグループでは、お客様とご家族、グループの社員に「めだか米」の田植えや稲刈りの農業体験を提供することで、環境保全に対する意識の高揚にも貢献しています。
- ・これからも企業と3団体が支え合い、「めだか米」を通じた地域の農業振興、環境保全に取り組んでいきます。



※ 「めだか米」は、酒匂川の水と豊富な湧水を用いて小田原市桑原地区で生産された「キヌヒカリ」等のお米の総称です。

## No.11 アートで地域を盛り上げよう！高校と鉄道会社と地域の企業の協働

### 【実施主体】

県立小田原城北工業高校×株式会社デコリア×伊豆箱根鉄道株式会社×小田原フラワーガーデン



- ・ 県立小田原城北工業高校デザイン科の生徒たちは、例年地域のお祭りのポスター作成やイベント運営を通じて日々の勉強の成果を見せる場がありましたが、新型コロナウイルスの影響でイベントが中止となり、生徒たちの活躍の場・表現の場が失われてしまいました。
- ・ そうした地元の高校生の厳しい実情を知った株式会社

デコリアが、「限りある高校生活を充実したものにしてあげたい」、「地域企業としてコロナ禍の今だからこそ出来ることがあるのでは」という思いから、以前より交流のあった小田原フラワーガーデンと伊豆箱根鉄道株式会社に呼びかけ、地元異業種企業と高校の4者で協働連携することにしました。

- ・ 4者の話し合いの結果、県立小田原城北工業高校デザイン科の生徒が、小田原フラワーガーデンで行うイベント『トワイライト・ミッ



ション』の告知を、株式会社デコリアが製造した黒板壁紙『Blackboard』※を用いて制作し、伊豆箱根鉄道大雄山線飯田岡駅に掲示する企画を実施しました。

- ・ コロナ禍がきっかけとなりスタートした



地元3企業と高校の連携事業ですが、今後も継続して連携し、高校生にとっての仲間との絆を深める場、成功体験の場、また地域活性の場として大切にしていきたいと考えています。



※ 『Blackboard』とは、株式会社デコリアが製造し、株式会社サンゲツが販売するグッドデザイン賞・キッズデザイン賞・神奈川なでしこブランド認定商品になった、黒板のようにチョークで自由に描き消しできる壁紙。

## No.12 NPOと企業が協働で運動・睡眠・環境が身体に与える影響を可視化

### 【実施主体】

NPO法人ダンスライフコミュニケーションズ×睡眠分科会（株式会社TAOS 研究所・グリーンブルー株式会社）

- ・睡眠分科会(株式会社TAOS研究所・グリーンブルー株式会社)と、ダンスを軸とした運動プログラムに関する事業を行うことで地域住民とのコミュニティ作りや地域活性化を目指しているNPO法人ダンスライフコミュニケーションズは、協働で運動(脳トレダンスエクササイズ)と睡眠、環境が身体に与える影響を「可視化」する為、2020年11月から2021年3月末まで、各種センサーを用いてデータ収集・分析\*を行いました。
- ・具体的には、日中の活動・余暇運動の身体状況として、スマートウォッチ・スマートフォンを使用し、心拍数、歩数、消費カロリー等を計測、睡眠時の身体状況として、寝室に睡眠センサー(「Aisleep」株式会社TAOS研究所製)を設置し、睡眠中の睡眠ステータス及び睡眠スコア等を計測しました。
- ・室内状況の環境としては、家庭内に環境センサー(「GBiot」グリーンブルー株式会社製)を設置し、PM2.5及び二酸化炭素等の大気質を計測しました。
- ・今回のデータ収集・分析を通して、運動・睡眠・環境のデータを「可視化」することができ、参加者の運動の維持・促進、睡眠の重要性、空気監視の必要性を再確認する事につながり、意欲向上に資することができました。



「Aisleep」株式会社TAOS研究所製



「GBiot」グリーンブルー株式会社製

※ データ収集・分析作業の一部に、国立研究開発法人情報通信研究機構・統合ビッグデータ研究センターのxDataプラットフォームを活用しました。

<https://www2.nict.go.jp/bidal/research.html>

《3団体のURLは以下の通りです》

NPO法人ダンスライフコミュニケーションズ(DLC) <https://dlc.themedia.jp/>

株式会社TAOS研究所 <http://www.taos.tokyo/other/80.html>

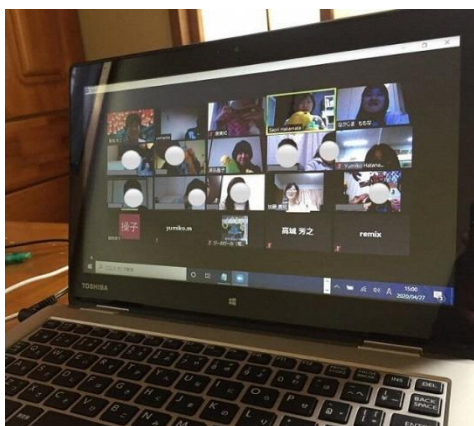
グリーンブルー株式会社 <https://greenblue.co.jp/>

## No.13 コロナ禍から生まれた異世代交流～小学生×大学生オンライン交流会～

### 【実施主体】

神奈川県山岡ゼミ×認定NPO法人びーのびーの×NPO法人アクションポート横浜

- 若者のキャリア支援をするNPO法人アクションポート横浜の呼びかけで、横浜市港北区で子育て支援施設の運営などを手掛ける認定NPO法人びーのびーの、



神奈川県山岡ゼミの学生有志が連携し、コロナ禍で臨時休校、外出自粛で自宅で過ごす時間が長くなった小学生と、同じくコロナ禍で大学やアルバイトへ行くことができず社会とのつながりを断たれてしまった大学生のオンライン交流会を定期的に開催しました。

- 2020年4月下旬から毎週火曜日と木曜日の週2回のペースで始まった小学生と大学生のオンライン交流会は、毎回6～7家庭の小学生

親子が参加し、学生たちがゲーム、クイズ、自慢大会、好きな本紹介、歌やダンス等、毎回違う遊びを取り入れて開催しました。

- 学校の先生や学童保育のスタッフ、保護者のような大人とは違い、普段はあまり接することの少ない、少し年齢の離れたお兄さん、お姉さんとオンライン上で遊ぶことで子どもたちにはよい刺激になっており、学生たちにとっても貴重な学外活動の機会であると同時に、子育て中の家庭やNPOの活動について学習するよい機会となりました。
- 小学校再開により現在は「オンライン交流会」は終了しましたが、子どもたちからは「楽しみにしているので今後も続けてほしい」という声上がり、学生たちは「子どもたちとリアルで会って遊ぶ機会を作りたい」という気持ちを高めています。

- 神奈川県山岡ゼミでは、「持続可能な社会の構築」をテーマに普段は地域での実践活動に取り組んでおり、コロナ禍で人と話す機会が減っている中、オンラインも活用しながら地域にできることを増やしたいと考えています。

自粛による外出や教育の機会が限られ、窮屈な思いをしている子どもたちと大学生をつなぐことで、体験と交流の機会を作ります。またこの自粛が明けた後にもつながる関係性を育てていきます。



この企画は神奈川県山岡ゼミ、認定NPO法人びーのびーの、NPO法人アクションポート横浜の3社連携企画です。

本交流の概念図（NPO法人アクションポート横浜作成）

## No.14 手話通訳団体と福祉従事者等へのIT支援NPOがコロナ禍で協働

### 【実施主体】

横浜市手話通訳奉仕団たつの会×特定非営利活動法人NPO福祉支援ゆうやけネット

- 横浜市手話通訳奉仕団たつの会は、手話サークル活動と、横浜市から委託された手話講習会を開催する団体です。
- 特定非営利活動法人NPO福祉支援ゆうやけネットは、福祉従事者や地域に暮らす様々な補助が必要な人へ、パソコン・スマホ・SNS・Zoom等の講習会、ホームページ制作サービス等のIT支援や相談、情報提供を行っている団体です。
- 3年前に、横浜市手話通訳奉仕団たつの会が特定非営利活動法人NPO福祉支援ゆうやけネットに、リニューアルしたホームページの運用管理等を依頼したことがきっかけで、横浜市手話通訳奉仕団たつの会が特定非営利活動法人NPO福祉支援ゆうやけネットの勉強会に参加し、パソコンやスマホの活用や技術サポートを受けながら、市民活動を円滑に遂行するための協働が続いています。
- 令和2年度は、コロナ禍により会場での手話講習会が中止になり、急きょホームページによる動画配信に変更しましたが、横浜市手話通訳奉仕団たつの会が動画を撮影、その動画を、特定非営利活動法人NPO福祉支援ゆうやけネットが、手話講習会参加者専用のホームページで限定公開しました。2020年6月から2021年2月までの間で、約50回の動画を配信。両団体が連携することで、オンラインによる手話講習会を実施することができました。
- 今後も、特定非営利活動法人NPO福祉支援ゆうやけネットの勉強会に横浜市手話通訳奉仕団たつの会のメンバーが参加する等、市民活動のさらなるステップアップのために連携して活動していく予定です。

手話入門コース 動画一覧  
はじめに、「手話入門・基礎動画1 先日の説明会と今後について」をご覧ください。

手話入門・基礎動画1 先日の説明会と今後について



手話 入門 動画2 挨拶表現 (1)



手話 入門 動画3 手話の歴史について

## No.15 市民団体が専門学校の学生と協働で戦国時代の城址の美化活動

### 【実施主体】

玉縄城址まちづくり会議×学校法人大原学園

- ・500年前に伊勢宗瑞が鎌倉鎮護の城として築城した「玉縄城」。玉縄城址まちづくり会議は、その城址遺構の保全や地域の歴史的遺産を市民に伝えるための探索会や城址体験ボランティア講座を開催しています。また、玉縄北条氏の菩提寺・龍寶寺の玉縄歴史館では、鎌倉市教育委員会と玉縄城址まちづくり会議が協働事業で作成した、玉縄城域模型や発掘調査の出土品などを展示し、連続歴史講座や市民学芸員育成講座を開催しています。
- ・さらに、鎌倉市の小・中・高校生への体験ボランティア、学校法人大原学園と連携し、専門学校生徒への歴史講話と環境ボランティア体験を開催しています。
- ・2020年11月に、大原学園の生徒20名が玉縄歴史館の歴史講座に参加、その後、10名が重文古民家の脇に「茶の木」の植え付けを行い、10名が玉縄城址の焰硝蔵遺構の竹林美化の活動に参加しました。



- ・これからも、連携して小・中・高校生や専門学校の生徒をボランティアとして受け入れ、若い学生へ地域の歴史的遺産を守り・学び・伝える意識を高めていきたいと考えています。

## No.16 地元企業と障がい者就労支援事業所が協働連携

### 【実施主体】

NPO法人ともに会 シェーン橋本（就労継続支援B型事業所）×株式会社セレモア相模原本社



- ・障がい者就労支援事業所であるNPO法人ともに会 シェーン橋本と、仏壇・仏具専門店を営む株式会社セレモア相模原本社は、2016年度の「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング」で出会い、それまでDMの封入作業・運送等を遠方の業者に依頼していた株式会社セレモアが、地域の障がい者就労支援事業所であるNPO法人ともに会 シェーン橋本にDMの封入作業等を依頼することで、障がいのある方の就労支援に寄与し、経費削減にもつながりました。
- ・2020年度も、NPO法人ともに会 シェーン橋本は、株式会社セレモア相模原本社のDMの封入・発送作業を3回受託し、地元企業と障がい者就労支援事業所の地域の継続的なつながりが築かれています。





## No.17 酒匂川に関する環境保全の目的でつながった企業とNPOの連携

### 【実施主体】

株式会社神鋼環境ソリューション×めだかサポーターの会

- ・酒匂川流域の下水処理に携わる企業として、水環境保全や地域住民との相互理解を深める取り組みを模索していた株式会社神鋼環境ソリューションと、酒匂川水系に生息し神奈川県内で唯一生息する野生メダカ（絶滅危惧種）保全活動に参画してくれる人を求めていためだかサポーターの会が、2019年度の「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング」で出会い、一緒に活動を始めました。
- ・株式会社神鋼環境ソリューションの社員の有志が、めだかサポーターの会の実施する田植え、外来種駆除、パトロール、草刈り、稲刈り、清掃等の活動に参加し、一緒に活動を行っています。
- ・また、株式会社神鋼環境ソリューションは、活動用具として軍手、ゴム手袋、ゴミをつかむトング等の寄贈も行っています。
- ・この協働連携を行うことにより、めだかサポーターの会としては、ボランティア人員の確保、活動用具の寄贈による資金面の支援、株式会社神鋼環境ソリューションの若い社員が参加することによる組織の活性化に繋がっています。また、通常業務で下水処理場の運転管理を担っている株式会社神鋼環境ソリューションは、下水処理場の処理水を酒匂川に放流していますが、その先の酒匂川の水質環境、生態系の保全に大きく繋がっていることを実感でき、社員のやりがい、モチベーションや業務パフォーマンスの向上に繋がっています。
- ・今後もこの活動は継続する予定で、株式会社神鋼環境ソリューションの担当者は、現在は個人でめだかサポーターの会に入会し、運営役員としても活動しており、多岐にわたる活動を継続して連携していく関係が構築されつつあります。



## No.18 企業とNPOの3団体共催による「川でつながるSDGs交流会」

### 【実施主体】

NPO法人海の森・山の森事務局×株式会社大川印刷×株式会社太陽住建



- ・NPO法人海の森・山の森事務局、株式会社大川印刷、株式会社太陽住建の3団体共催で、2018年9月から「川でつながるSDGs交流会」を定期的に開催しています。大岡川をはじめとする地域に流れる河川を通して、自分たちの暮らす街の持

続的な発展を目指し、立ち上げた取り組みです。一人でも多くのアクティビスト

(行動者)を増やしていき、横浜から他の地域にも活動が広がることを願い活動しています。

- ・この交流会では、企業、NPO、行政等、所属する組織や団体を問わず、毎回多くの方が参加し、SDGsに関連する取組みの情報共有や情報交換を定期的に行いながら、交流を深めています。
- ・2020年度はコロナ禍のため、オンラインで5回開催しましたが、地域での交流の場を提供することで、新たなパートナーシップや活動に結び付いています。
- ・今後も、定期的に交流会を開催していく予定です。



## No.19 子育て家庭を地域の飲食店と連携して応援する“未来食堂”

### 【実施主体】

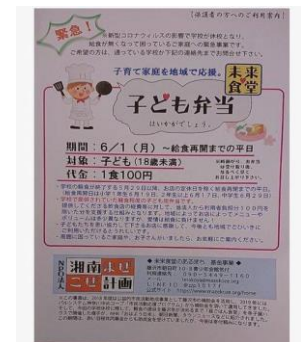
NPO法人湘南まぜこぜ計画×中華料理三番×藤沢本町たいこや×伊藤さん、ち×Nico's Kitchen×ほうとうの店元祖へっころ谷×Village Cafe×駅前直売所八〇八カフェ×はっぴーあわー×レストラン リッシュ×坊さんキッチンen×和食ダイニング七彩×KAMOME KITCHEN×光友会×まるほ農園

- ・小中学生を対象とした学習支援や子どもが自由に過ごすことのできる居場所“寺子屋ハウス”を運営するNPO法人湘南まぜこぜ計画では、仕事や病気等で食事の用意が困難な子育て家庭を地域で応援する事業として、その想いに賛同した地域の飲食店や農園と連携した“未来食堂”事業を実施しています。
- ・“未来食堂”では、子どもはスタッフと一緒に、協力している市内の飲食店で無料で温かい食事をする事ができます。協力している飲食店には、経費として1食あたり500円を支払っています。



- ・2020年度は、コロナ禍での子どもたちの食を支援するため、6月に緊急事態宣言が解除され学校再開後、給食が再開されるまでの約1か月間と8月の夏休み期間、昼食の用意が難しい家庭の子どもに、事業に賛同した店舗等が作ったお弁当を100円で提供する「子ども弁当」を期間限定で実施し、6月には延べ300人、夏休み期間には延べ261人の子どもたちに提供することができました。

- ・2018年度から始めた事業ですが、基金を運営してお店に支払う経費の寄付を募り、また市の補助金や様々な団体の助成金を活用して事業を実施しています。
- ・引き続き、地域の飲食店、農園との連携を広げつつ、地域の子育て家庭を応援していきます。



## No.20 子どもたちが本に親しむ観光バスの移動図書館

### 【実施主体】

株式会社三浦観光バス×一般社団法人うみとやまのこどもとしょかん

- ・「子どもたちが本に触れる機会を少しでも多く作りたい」と私設図書館を運営するとともに、移動図書館“うみやま号”の試験運行なども行っている一般社団法人うみとやまのこどもとしょかんの思いに株式会社三浦観光バスが共感し、自社が所有する観光バス車両や施設と“うみやま号”をコラボレーションさせ、バス車内で読書や読み聞かせを楽しむイベントを、地元の三浦などで2018年度から実施しています。



- ・2020年度は、コロナ禍のため前年度に比べ実施回数も減りましたが、今後も状況をみながら定期的な開催を予定しており、地域コミュニティの確立を目指して、誰もが参加できるイベントをテーマに、より一層拡充していきたいと考えています。
- ・さらに、移動図書館+バスはコンテンツと施設が同時に提供できるため、図書館の無い地

域の活性化にも貢献できると考えられることから、他の様々な地域に訪なども視野に入れながら継続していきます。

## No.21 障がい者施設が社会的企業の開発製品の販路を拡大

### 【実施主体】

NPO法人あんしん農園×神奈川歯科大学附属病院

- ・社会的企業である株式会社トライフが商品開発しているオーラルピース(飲み込んでも安心なオーガニック口腔ケア製品)を、神奈川歯科大学の協力を得て、障がい者支援を行うNPO法人あんしん農園が、神奈川歯科大学附属病院内で販売できることとなりました。
- ・オーラルピースの商品を広く知っていただくと同時に、販売経路の拡大にも寄与することができました。



## No.22 1フラワーfor10スマイルプロジェクト

### 【実施主体】

横浜緑地株式会社×社会福祉法人開く会共働舎



- ・地域に花と緑と笑顔を広めるプロジェクトとして、横浜緑地株式会社は、社会福祉法人開く会共働舎で知的障がいのある方々が育てた花苗を買い取り、買った苗1つにつき10粒の種を社会福祉法人開く会共働舎に提供しています。
- ・花苗は地域のボランティアと一緒に県立観音崎公園等に植えられ、施設で袋に小分けした種は地域の人に配布するなど、施設・公園・地域の結びつきを作り出しています。
- ・このプロジェクトにより、施設で働く人たちは納品や外部の方とのやり取りなど貴重な経験ができ、さらに賃金向上にもつながっています。公園では良質な花苗の供給を継続して受けられるため、園内を鮮やかに彩ることができて、来場者の目を楽しませることができます。さらに、双方のお祭りなどで配布される種も地域の方に喜ばれています。
- ・2020年度はコロナ禍のため、共働舎で障がいのある方々が育てた花苗の買い取りのみの実施となりましたが、引き続き状況をみながら、可能な範囲でこのプロジェクトを続けていく予定です。



## No.23 NPOと美術系若手アーティストの協働連携

### 【実施主体】

認定NPO法人あっちこっち×美術大学卒若手アーティスト

- ・若手芸術家の社会貢献活動への支援と教育を行っている認定NPO法人あっちこっちと、美術大学の学生がつながりを持ち、コンサートのチラシやポスターのデザインを分担し、作成しました。また、参加者からの意見も取り入れつつ、デザインを改善する双方向のつながりも続けています。
- ・音楽系には強いものの、美術系の学生への広報が足りなかった認定NPO法人あっちこっちが、美術大学の学生にアプローチする足掛かりを得ると同時に、学生支援にもつながりました。
- ・団体は、美術大学の学生が大学を卒業した後も引き続き一緒に活動を続けており、今後も、美術大学との芸術を通じた社会貢献活動の連携を続けていきます。

## No.24 「寄付でつなぐ未来へのバトン2020」寄付月間公式認定イベントの開催

【実施主体】 寄付月間 2020@日本大通実行委員会※<sup>1</sup>

- 寄付月間※<sup>2</sup>の趣旨に賛同した8団体が実行委員会をつくり、体験イベントなどを通じて、未来をよくする寄付について考えるイベントをKosha33及びオンライン（Zoom、Stream Yard、Web）にて開催しました。
- 寄付月間公式認定企画として協働企画3年目となった2020年は、「寄付でつなぐ未来へのバトン2020



新しい未来へ” Re-connect”」と題し、8団体と11のメイン企画は、会場実施とオンラインを組み合わせ、コロナ禍での新しいつながり方を模索しながら寄付に関するイベントや情報を数日間にかけて開催、発信しました。

- 例えば、会場では、増えすぎて駆除されたウニの殻でランプを

作成したり、Zoomで「寄付の教室」「NPO経営とお金の関わり」等を開催したり、また、Zoomと会場同時開催のヨガを開催したりと、多数の方に参加していただくことができました。

- 2021年も新たな方向性を検討しながら、寄付月間公式認定企画として実施する予定です。



※<sup>1</sup> 寄付月間 2020@日本大通実行委員会 AS muffin/Kosha33 ライフデザインラボ/NPO法人 Sharing Caring Culture/認定NPO法人地球学校/NPO法人日本補助犬情報センター/NPO法人森ノオト/一般社団法人ユースクラシック/理科クラブ

※<sup>2</sup> 寄付月間 (Giving December) は、NPO、大学、企業、行政など寄付に係る主な関係者が幅広く集い、寄付が人々の幸せを生み出す社会をつくるために、12月1日から31日の間、協働で行う全国的なキャンペーンです。